

## 基本理念 みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば

新しい文化会館は、市民の皆さんが舞台芸術で心が満たされる鑑賞の機会を提供します。そこでは、伝統芸能や人形劇など飯田ならではの文化を発展させ、さらに新たな舞台芸術を創造し、人材育成をも担う施設機能を備えることを目指します。そして、魅力にあふれた「飯田ひろば」を目指し、舞台芸術の振興だけにとどまらず、地域を担う人材を発掘・育成し、文化力の高いまちをつくり、地域発展の活力を生み出すことへとつなげていきます。

基本理念の実現を目指し「集う」、「観る」、「創る」、「伝える」、「育む」の5つの基本方針を掲げます。

集う	観る	創る	伝える	育む
<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが集うことができる舞台芸術施設</li> <li>同じ趣味を持つ仲間との交流を深めたり、日常的な練習やハレの場であるステージ発表に訪れたりする施設</li> <li>合間に歓談して交流の輪を広げたり、活動のきっかけを見つけたりすることができる施設</li> <li>舞台芸術に関心がない方も立ち寄ってみたいような、さまざまな方が日常的に集い、交流できる施設となるよう、周辺施設やまちなか空間などと結びつき、点から線へ、線から面へとつながる施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好な施設環境の中で、音楽、演劇、舞踊、古典芸能、人形劇などの優れた舞台芸術に触れて、心が満たされる鑑賞の機会を提供</li> <li>さまざまな舞台芸術活動の成果発表や練習風景を観たり、聴いたりすることで、多くの方が共感し合う場づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで知恵を出し、汗を流し、励まし合い、共感しながら、さまざまなジャンルの舞台芸術作品を創り出す「生きた施設」</li> <li>高速交通網社会、高度情報社会のインフラ環境を最大限に活用して、飯田下伊那出身者、全国や世界で舞台芸術活動に携わっているさまざまな方とつながり合って、多様な文化的要素を積極的に取り入れ、融合させて、飯田ならではの個性を持った舞台芸術を創造し、発信していく施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を表現したり、思いを他者に伝えたりする舞台芸術活動が活発に行われる施設</li> <li>飯田の特色でもある市民が主役の舞台芸術活動の思いや熱量、事業の企画運営ノウハウなどを次世代につないでいく活動を大切にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台芸術活動を広めることによって、地域の文化的な土壌を耕し、飯田のまちが「文化力の高いまち（文化によって人や地域を元気にして、暮らしをより良くしていく力と、人々を魅了する力を持つまち）」へと育む一翼を担う施設</li> <li>ワークショップやアウトリーチ活動によって、舞台芸術の演じ手や支え手の発掘や育成することを大切にする</li> </ul>
人が集まる場（たまり場） 出会いの場 つながる場 幅広い世代の声が聞こえる場 日常的な居場所 多様性を認める場 ローカル（地域）とリージョナル（広範囲な地域）な視野	本物に触れられる場 観て感激する場 心を満たせる場 感性を磨く場 非日常（ハレ）の場	文化を創造する拠点 練習の場 発表の場 感動を与える場 体験・体感の場 みんなでつくる場 シン・文化会館	吸収し継承し発展させる力 学びの場（体験の場） 文化を享受する場 発信する場	人を育てる場 文化を育む場 楽しむ場（ワクワク・感動） みんなでやる文化 みる・演じる・ささえる（人形劇フェスタの理念） 自主活動 豊かな心を育む

【意見交換】施設の分散段階的な整備は、基本構想の実現にどのように影響するか ～5つの基本方針に沿って～

「集う」
「観る」
「創る」
「伝える」
「育む」